

黒崎展望台

昭和30年5月、村は陸中海岸国立公園に指定されました

普代村村民憲章

私たちは、郷土の雄大な自然と伝統ある文化を愛し、平和で豊かな普代村をきづかため、村民としての自覚をもち、その達成に願いをこめて、この憲章を定めます。

- 1 きまりある生活をし、住みよい村をつくります。
- 1 教養をふかめ、より高い文化をつくります。
- 1 健康と安全をまもり、明るい社会をつくります。
- 1 常に感謝の心をもち、温かい家庭をつくります。
- 1 仕事にはげみ、協力して伸びゆく郷土をつくります。

普代村の花鳥木、村民憲章は、地方自治施行30周年を記念し、昭和52年11月12日に制定しました。

普代村の 花 鳥 木



花：ハマユリ

夏、海岸の断がいや岩場に、かれんに情熱的に咲き誇ります。橙赤色の6片花で、海の青によく調和しています。潮風に耐え、根強く生きるこの花は、たくましく生きる普代村民の姿でもあります。(正式名=スカシユリ。ユリ科)



鳥：ウミウ

海岸一帯に生息する海鳥で潜水が上手。昔から漁業に従事する方々から“海の天気予言者”として親しまれています。岩礁地に上がって海を眺めながら、雄々しく翼を広げる姿は、普代村の躍進の象徴でもあります。(ウ科)



木：エンジュ

村内の山林に分布し、国道45号沿いにも植樹されています。高さは20mにも達する落葉高木で、昭和49年の全国植樹祭には、村からの献上木になりました。緑と安らぎをつくり、高くそびえようとする姿は、私たちの勤勉性にも似ています。(マメ科)